



いちいの会 だより

NO. 66
2025. 4
春号



くすのき苑敷地内の桜で記念撮影

目次

理事長挨拶

／事業所だより 2,3

行事いろいろ 4,5

新任職員紹介

／ご協力・ご支援のお礼

／編集後記 6

いちいの会のホームページアドレス
<http://www.ichiinokai.com/>

QRコード



ご意見・ご感想お聞かせ下さい



理事長挨拶

社会福祉法人 いちいの会 理事長 山内 幹雄

理事長の山内です。光陰矢の如し、この6月で理事長に就任してはや3年が経ちます。その間、利用者様、ご家族、職員の皆様の絶大なるご支援で何とか無事職務を全う出来ました。

コロナが2類から5類になったものの引き続き猛威を振るっており今年年初より相当数の利用者様と職員が感染したものの職員全員の頑張りで大過なく過ごせました。心より感謝申し上げます。

この4月には久しぶりの学卒者3名の新人の方が入職します。引き続き基本理念の「利用者第一の充実した支援サービス」「地域福祉への貢献」「やりがいと研鑽そして笑顔の職場」を念頭に利用者様の支援を行ってまいります。

くすのき苑

総合施設長 清本 健二郎

I C S 計画の第一弾が令和5年度に完了した。入所施設の利用者の皆様の安全、高齢化対応と職員の働きやすさのための施設建屋、設備の一部増築、改修を行った。食事形態の多様化に対応する厨房の増築、車いすで入れる特殊浴槽、トイレ介助しやすいブースの拡張等々現場職員のアイデアを結集させた。

今年度は第二弾としてもう一棟の建物の平屋増築を進めている。これも現場職員のアイデアを詰め込み、基本設計に入る所だ。

I C S 計画とは「いちいの会中長期戦略計画」の略である。

この計画は改修だけではなく現在の利用者の皆様の安全安心な生活の向上とこれからの地域のニーズに応えるための事業展開も含まれる。

今後の事業展開を進めていくためにも生活介護の利用者増、収入増、人材育成、職員の基本給ベースアップ等も進めていく。

世の中は物価高騰、人材不足、業界の給付費は微増、中でも法人の基本理念である、利用者第一を掲げ、ここで働く職員が支援のスキルアップが出来、笑顔で働く環境をつくっていききたい。

ワークショップくすのき

施設長 大谷 篤司

今年の冬は、各地で災害級の大雪と報道されていました。2時間おきに雪かきをしなくてはならない状況であったと聞いたこともあり、それはそれは大変な思いをされていたのだとご心労お察しします。

数センチの雪が降っただけで、大きな混乱が発生してしまうこの地域では、そこまでの大雪が降ったとすると、はたして事業所を問題なく開けることができるのか計り知れません。やはりここで大切になるのはBCPです。地震や水害の他にも、大雪への備えの記載も検討が必要なのではと考えさせられました。

大雪で大変ご苦労された地域の方々も、ようやく来た、この春の訪れに喜ばれているのではと思います。

さて、今年度のワークショップくすのきでは、野田特別支援学校からの卒業生1名を新たに仲間に加え、32名のメンバーでスタートします。

利用者の皆様の特性を活かした支援を提供するために、受注作業や自主生産の製作等、それぞれにあった活動を提供していきます。皆様が頑張ったお仕事を納品したり、製作に携わった製品が販売会で売れていくことを実感する。そして、地域と繋がっていることを感じとり、それをまた、お仕事の意欲としていく。そのような活動を通して、楽しみながら自分自身の力を発揮することができる事業所を目指していきたいと思っています。

そのためにも、職員が意欲的に働くことのできる職場を作らなければなりません。言われたことだけを続けていく仕事では面白くない。利用者の皆様の暮らしをよくするためにチームで考えたり、新しい自主生産品を考えたり、楽しい行事を企画したり、旅行の行き先を皆で考えたり、クリエイティブな仕事をして、職員それぞれが活躍できる職場を皆で作っていかねばと思っています。

※ BCP…事業継続計画(自然災害や感染症等の緊急事態が起きた際に、被害を最小限に抑え事業の回復を図るための計画のこと)

「来年度からグループホームに行ってくれない？」2月のとある寒い日、大谷施設長と戸辺副施設長から呼び出され、突然そんなようなことを言われました。くすのき苑第二支援係の係長になって1年ちょい。寝耳に水です。色々思うことはありましたが、次期係長候補は頼りになる人物だったこともあり、14年間務めてきたくすのき苑から全く未知のGHへの異動を了承しました。

そんなGH未経験の僕にいきなり広報誌でGHとしての抱負を語らせるとは…無茶ぶり文化は良くない文化です…。

今は4月からグループホームで勤務して1週間。職員、世話人の方々が色々と優しく教えてくれているので、優しいうちに覚えるよう頑張っている所です。

さて、そんなGHですが、コロナ禍の影響もありご利用者様の外出がなかなかできていなかったとのこと。今年度はご利用者様のニーズに合わせた外出計画を実施していきたいと考えています。また、ご利用者様の高齢化も課題の一つ。健康面のケアにも力を入れていく必要があります。健康に余暇を楽しんで頂き、ここに住んで良かったよ、そう思ってもらえるようなグループホームをみんなで作り上げていこうと思っていますので、応援よろしくをお願いします。

中核地域生活支援センターのだネット

地域総合コーディネーター 五十嵐 孝子

千葉県ではデジタル化を推進していて、中核センターでも2か所「音声マイニング」を試験的に導入しています。電話や面接の会話をテキストデータにしてくれるものです。記録の負担をなくすとともに振り返りの材料にもなります。アナログの自分には荷が重いことも多いですが時代の流れに少しでも追いつくように日々精進したいと思います。

関宿高校で開催している「放課後カフェ」(高等学校内における居場所づくり事業)も2年間無事に実施しました。予算は2年間の予定でしたが継続される見込みです。

清水高校でも「放課後カフェ」を開催して欲しいと要望があり、昨年度は2回開催しました。今年度も学期に1回開催できればと考えています。それには地域の方々の協力なしでは開催することは難しいため、子どもや若者を支援するネットワーク作りが必要だと感じています。

今年度は新しい体制で、気持ちを新たに活動に取り組んでまいります。

よろしくお願いいたします。

相談支援センターいちいの木

所長代理 中村 成彦

相談支援センターいちいの木での新年度の抱負としては、事業計画に記載していることの中で、

『事案への対応の強化のため、計画相談利用者数の件数調整』…短期間に案件が多々ある時、一人での対応が難しくなる可能性があるため調整していきたいと思います。

『本人主体型のサービス利用等計画の作成及びモニタリング』…本人・家族のニーズに対応した計画書の作成を心掛けていきたいと思います。

『各機関との連携・協働・障害福祉における福祉ニーズの向上』…一人での対応が難しい場合等は、各機関と連携して案件に対応したいと思います。

『次期を担う人材の育成』…いちいの木に配属があった場合、計画相談や各機関、利用者様のことなどしっかり伝えていきたいと思います。

『利用者及びその家族の困難なケースの対応』…利用者・家族が困っている案件があった場合は、即座に対応して適切な支援が行えるように相談を重ねていきたいと思います。

以上、5点の内容を着実にやっていくことを新年度の抱負とします。

くすのきオープンガーデン

開催が危ぶまれた前日までの大雨がまるで嘘のような秋晴れの下、くすのきオープンガーデンを開催することができました。開所時から続いていたくすのき祭がコロナで中止となり、法人の状況、環境の変化等で新たな形態を模索していた中、「交流」と「啓発」を開催趣旨として、くすのき苑を開放し近隣の飲食店様、東京理科大学のボランティアサークル様、お付き合いのある社会福祉法人様や川間地区社協様のご協力を得てマルシェをイメージし企画がスタート。名称は新たな船出を機に「くすのきオープンガーデン」に決定し、これまでと同じくらいのお客様に来場して頂き無事、盛会のうちに終える事ができました。初めての試みだった為、暗中模索の状態に至らぬ点や多くの反省が出てきました。今回名称の冠に「第一回」とつけなかったのは今後継続させるかどうか自信がなかったから…。しかし今はハッキリ言えます。今回の経験を経て更にグレードアップ、末永く続くイベントに成長させていきます。今後もお楽しみに！

ワークショップくすのき
生活支援係長 山田 宗成



Y's chiffon 様



社会福祉法人 心聖会 様



誠豊開発 株式会社 様



川間地区社協 様

ハロウィンパーティ

令和6年10月26日(土)くすのき苑の生活廊下や食堂を使用してハロウィンパーティを実施しました。前年はインフルエンザの影響で急遽中止になり、ご家族の皆様を招いてのハロウィンパーティは今年度が初めてとなりました。

職員は各々持参した衣装を着て、ご家族の皆様は入口に用意した仮装道具を身につけていただき、ハロウィンパーティが始まりました。模擬店、ゲームコーナー、お買い物コーナーと皆が楽しめるように出し物は工夫しました。中でも一番力を入れたのが、利用者様とご家族と一緒に写真を撮れる写真映えスポットで、その場で撮った写真を渡せるようにしました。ご家族からは大好評で「数年ぶりに一緒に写真を撮った」「家に飾る」等の言葉をいただきました。

イベントを通じて、参加した皆様の笑顔を多く見る事ができました。次回のハロウィンパーティもバージョンアップした仮装を用意してお待ちしております。

くすのき苑 第1支援係長 内山 裕史



フォトスポットで記念撮影

ワークショップくすのき新年会 新成人を祝う会

2月14日に、新年会・新成人を祝う会を行いました。午前中は、ワークショップくすのきの近くにある寺院へ初詣に出掛けました。初詣から帰ってきた後は、ホテルのマイクロバスに乗り、クリアビューホテルに向かいました。クリアビューホテルでは、新成人の方と2月から入所の方、4月から入職予定の方の紹介と記念品の贈呈を行いました。温かい拍手に包まれ、素敵な式典を執り行いました。

式典後は、皆様が待ちに待ったランチビュッフェの開始です。メニューは、中華がメインの春巻きやカレー、あんかけ焼きそばや餃子、焼売、杏仁豆腐など盛り山あり、皆様とても楽しそうにビュッフェの列に並んでは、思い思い自分の好きな物を選び、美味しそうに召し上がっていました。久しぶりにホテルでの開催となり、心に残る式典となりました。

ワークショップくすのき 生活支援員 佐藤 みなみ



忘年会

12月…と、いうことで忘年会です！忘年会にふさわしく、今年はドリーミングバックを用意。ピザに寿司、唐揚げ、焼きそば、チャーハン、餃子に焼売もあります。利用者さんの大好きなメニューを詰め込んだこの食事を、みんなでワイワイ囲みながら食べ、一年の思い出話に花を咲かせました。2025年は更に楽しく過ごせますように。

くすのき苑 主任生活支援員 大谷 晴香

昼食外出

浄化槽工事により1日水が使えず、それなら折角だし外出しよう！という事で2寮の利用者の皆様で、『食事処とみや』様のお座敷でランチ会食を行いました。アツアツの鍋焼きうどんや釜めしを、額に汗をにじませながら、夢中で食べていました。

食後は公園に行き、長——い滑り台をみんなで滑ったり、のんびりと散歩したりと思い思いの方法で楽しんでいました。

くすのき苑 第2支援係長 葛原 聖人



川越日帰り旅行

E棟利用者全12名で川越にある菓子屋横丁へ日帰り旅行に行きました。

昼食は『Washoku大穀』で、鰻重や天ぷらなど好きな料理を選んで食べました。菓子屋横丁では、駄菓子の他にも限定ソフトクリームや芋チップスなどを食べ歩きして川越を満喫しました。

久しぶりの遠出で、利用者様の満足そうな笑顔がみられたので来年度も計画して行きたいです。

くすのき苑 副主任生活支援員 霜田 侑弥



新任職員紹介

福祉施設の新入社員として、一人ひとりの利用者様に寄り添い、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。先輩方から学びながら、思いやりの心と笑顔を忘れず、信頼される職員を目指して成長していきたいと思っています。



くすのき苑 生活支援員 野澤 心

4月から、くすのき苑で働くことになりました須貝美瞳です。緊張と不安でいっぱいですが、利用者の皆様が安心して毎日過ごせるように努力していきたいと思っています。これからよろしくお願いします。



くすのき苑 生活支援員 須貝 美瞳

新潟県の魚沼市出身で、魚沼産コシヒカリというお米がとても有名なところなんです。趣味はプロ野球を見るのが好きで、広島カープを応援しています。



利用者様が安心して、充実した生活を提供できるよう、努めてまいりますので宜しくお願いします。

くすのき苑 生活支援員 岡部 寛斎

社会福祉協議会様よりクリスマスプレゼントのお礼

今年度も社会福祉協議会様よりクリスマスプレゼントとして、たくさんのお菓子をいただきました。

利用者様は頂いたクリスマスプレゼントを手に取り大喜びの様子でした。



家族会よりご支援のお礼

年明けに法人全体をまたぐ新型コロナウイルスの流行があり、各事業所で対応にあたっていました。

それを受けた、いちいの会家族会様からのご厚意で、以下のご寄付をいただきました。

- ・空気清浄機 2台
- ・新型コロナウイルス及びインフルエンザ検査キット
- ・感染防護服等一式

新型コロナウイルスが5類に移行してからは、感染防止に関わる物品について、行政からの支援は無くなってしまい、法人が自前で補充をしていました。決して少なくはない費用でしたので、今回のご寄付は大変に助かります。引き続き感染症の予防に努めていきたいと思ひます。どうも有難うございます。



近隣の方からのご支援のお礼

近隣の方より、外で活動している利用者様の為にと、手作りの毛糸の帽子をたくさん頂きました。

活動の中で散歩に行く時などに使用しており、帽子がお気に入りになった利用者様もいます。

くすのき苑の利用者様の為にご支援いただいたこと大変嬉しく思います。ありがとうございます。



編集後記

下半期(10月～3月)は大きな行事が盛りだくさんでした。

地域の皆様に向けたくすのきオープンガーデン、ご家族の皆様を施設にお招きして行ったハロウィン、ホテルの一室を借りて行った新年会・新成人を祝う会、日帰りですが旅行にも行けており、コロナ以前の活気が戻ってきているのを感じ嬉しく思います。

できればこのまま、利用者様の楽しみの機会が奪われないようにと願っております。(清宮)

社会福祉法人 いちいの会 くすのき苑

〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3121
TEL:04-7120-6667
FAX:04-7120-6668

発行責任者 総合施設長 清本 健二郎
編集 清宮・小平
発行日 令和7年4月吉日

